OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	MIEDIT（マイエディット）利用の手引
Author(s)	中島, 重雄
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1988, 71, p. 101-132
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65809
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ＭＩＥＤＩＴ（マイエディット）利用の手引

システム管理掛　中島重雄

ＭＩＥＤＩＴはエディタの機能の一部を端末上で動作させるもので，最も大きな特徴としてはキー操作を主体としているためコマンドを覚える必要がないことである。また，画面を分割して二つのファイルの編集が行えたり，キーの機能をユーザの好みに変更出来ることがあげられる。まだまだ不備な点もあるが，画面エディタや日本語エディタよりは格段に使い易くなっている。　ここでは最も基本的な使用法について述べることにする。詳しくは次のマニュアルを参照のこと。

【ＦＥＦ３３－１　ＡＣＯＳ－６／ＭＶＸ　ＴＳＳ管理マイエディット説明書】

※　動作可能端末

ＮＳ２００シリーズ（０３，０５ｍｋⅡ，０７，０７ＡＤ），Ｎ５３００／ＡＤ，Ｎ６５００，ＰＣ－９８００シリーズ。　なお，ＭＩＥＤＩＴはセンター内に設置されているＮ５２００／０７，第２端末室のＰＣ９８００で使用できる。センター外で使用する場合はそれぞれ専用の端末エミュレータが必要となる。

【概要】

１．起動方法
- ＭＩＥＤＩＴの起動方法
- 主なキーの説明

２．終了方法
- 終了方法
- ＭＩＥＤＩＴ起動時のメニュー画面省略方法

３．編集方法

文字列挿入	（カーソル位置に文字を挿入）
文字列削除	（カーソル位置の文字を削除，復活）
行挿入	（カーソルの次に空白行を挿入）
行削除	（カーソル行の削除，復活）
行分割	（行の分割）
行結合	（２行を１行にする）
文字列検索	（終端または，先頭へ向けての検索）
文字列一括置換	（検索文字を置換）
範囲指定の削除	（範囲指定行を削除）
範囲指定の移送	（範囲指定行を任意の位置へ移送）
範囲指定の複写	（範囲指定行を任意の位置へ複写）
範囲切換	（範囲指定を行，文字列，矩形に切換える）

４．補助機能

機能変更	（モードの切り換え等）
ヘルプ機能	（キーの説明や編集方法の説明）
コマンド入力	（ＭＩＥＤＩＴ中にＴＳＳコマンドの使用）

５．画面分割　２つのファイルを画面分割して編集

６．カストマイズ　キーの機能設定等を好みに変更

７．付録　キー割付，機能番号一覧

1．起動方法

① ＳＹＳＴＥＭ？またはｋ（ビルドモード）でＭＩＥＤと入力。
次の画面となる。最下行にメニューが表示されるのでこの画面をメニュー画面と呼ぶことにする。

【メニュー画面】

ＭＩＥＤ　　挿入　行位置：　　総行数：

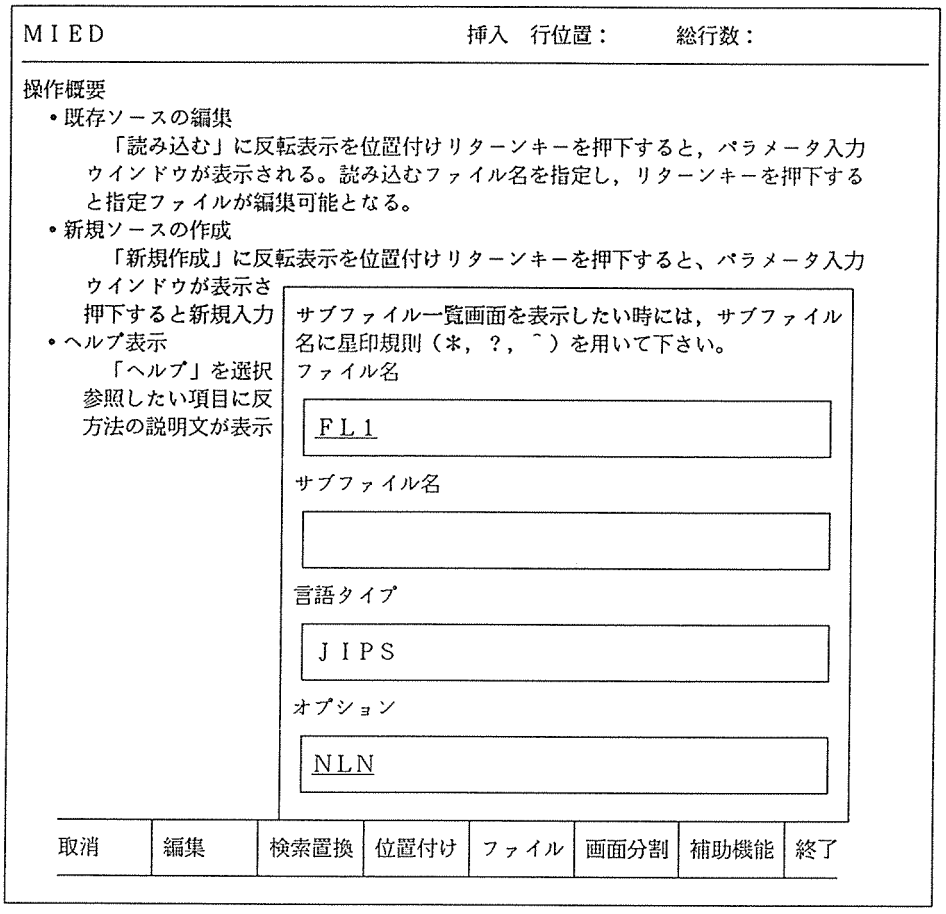
操作概要
- 既存ソースの編集
  「読み込む」に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると，パラメータ入力ウインドウが表示される。読み込むファイル名を指定し，リターンキーを押下すると指定ファイルが編集可能となる。
- 新規ソースの作成
  「新規作成」に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると、パラメータ入力ウインドウが表示される。ファイル名，及び言語タイプを指定してリターンキーを押下すると新規入力が可能となる。
- ヘルプ表示
  「ヘルプ」を選択してリターンキーを押下すると，ヘルプメニューが表示される参照したい項目に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると項目の機能や入力方法の説明文が表示される。

取消	編集	検索置換	位置付け	ファイル	画面分割	補助機能	終了

ここでの例は既存のパーマネントファイルの編集を行うものとする。

② ↑↓キーにより“読み込み”を反転表示させリターンキーを押す。

	書き出し	
	新規作成	
	読み込み	
位置付け	ファイル	画面分割



③　項目の移動は↓キーにより行う。

ファイル名　・・・ここでは，“ＦＬ１”というファイルを編集
（カタログ構造の例　／カタログ名／ファイル名）
もしカレントファイルを編集するならば“＊”を指定

サブオプション・・・ファイル名で、ソースライブラリファイル等を指定した場合のみ必要で、ここでは何も指定しない

言語タイプ　・・・既定値のＪＩＰＳ

オプション　・・・このファイルはラインナンバーがないので“ＮＬＮ”を指定
ラインナンバーが付いているファイルならば“ＬＮ”かまたは省略

④　設定を終了し，リターンキーを押すと次のような画面となる。ここでは編集画面とよぶことにする。

【参考】
１レコードの最大長は２５６バイトである。

【編集画面】

```
[RUN]  MIEDITL    R001.1F  000  KBO
MIED  FL1          JIPS      挿入   行位置：1     総行数：10
----------------------------------------------------------------
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7..
$      JOB
$      FRT77  LSTIN
       READ(5, 5) A, B, C
  5    FORMAT(3F4.2)
       D=A*B+C
       WRITE(6, 6) A, B, C, D
  6    FORMAT(3X, 4F4.2)
       STOP
       END
$      GO
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

【キー説明】

画面最下行の機能はファンクションキーに対応する（ｐｆ・１　範囲開始　・・・　ｐｆ・１０　復活）

また，主なキーとして次のものがある。

[ｐｆ・１６]	一行削除	・・・　カーソルのある行を削除
[ｐｆ・１７]	カーソル直前一文字削除	
[ｐｆ・１８]	カーソル位置一文字削除	
[ｐｆ・１９]	モード切換	・・・　挿入モードと上書モードの切換
[ｐｆ・２１]	メニューキー	・・・　メニュー画面にする ＰＣ９８００では，[HOMECLR]キー
[ＥＳＣ]，[ＲＥＳＥＴ]		・・・　完結していないモードの取り消し

※　カーソル移動

ＭＩＥＤＩＴの特徴として，カーソル移動キーによりテキスト内を自由に移動することが出来る。

↓　画面の最下行にカーソルがある時にこのキーを押せば画面はスクロールアップされる
↑　画面の最上行にカーソルがある時にこのキーを押せば画面はスクロールダウンされる
←　右スクロールを行う（画面左側にテキストがある場合）
→　左スクロールを行う（画面右側にテキストがある場合）

また，次の機能を利用すれば大変便利である（ＣＴＲＬキーと英字を同時に押すことを示す）

ＣＴＲＬ＋Ｇ　カーソルを行の左端に移動
ＣＴＲＬ＋Ｈ　カーソルを行の右端に移動
ＣＴＲＬ＋Ｊ　カーソルをテキストの先頭に移動
ＣＴＲＬ＋Ｋ　カーソルをテキストの末尾に移動

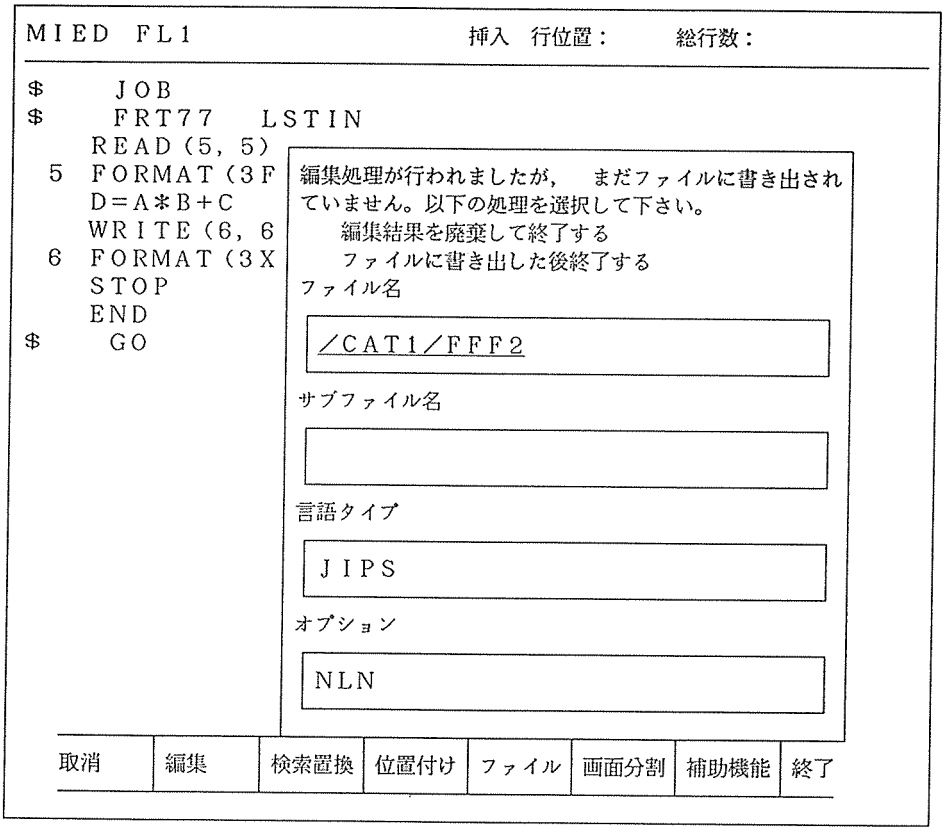
この他にも便利なキーがあるので詳しくは付録Ａを参照のこと。またこれらのキーを自分の好みに変更が可能である。「６．カストマイズ」の項参照。ここでは，既定値のキー機能で説明を行う。

2．終了方法

① メニューキー（ｐｆ・２１キー，　ＰＣ９８００ではＨＯＭＥＣＬＲキー）を押した後，
→　←キーにより“終了”の位置へもっていく。

画面分割	補助機能	終　了

② リターンキーを押すと次の画面となる（テキストの編集を行った場合表示される）



③ 編集したテキストを保存するパーマネントファイル名を指定しリターンキーを押す。
既に存在するファイル名ならばＲＥＳＡＶＥされ，新しいファイル名なら作られる。

２－１　ＭＩＥＤＩＴ起動時，メニュー画面出力を省略し編集画面表示にする方法

ＭＩＥＤ　¥カストマイズファイル名　[Ｎ（新規作成）／Ｓ（カレント）／ファイル名]　言語タイプ　：オプション

【例】＊ＭＩＥＤ　ＦＬ１　：ＮＬＮ　・・・・・　パーマネントファイル名が　ＦＬ１
ラインナンバー無しファイル　：ＮＬＮ
ラインナンバー有のファイルであれば
＊ＭＩＥＤ　ＦＬ１とする

※　カストマイズファイルについては，「６．カストマイズ」で説明を行う。

3．編集方法

次に，具体的に編集方法を説明するが，主に“挿入”モードについて行う。“挿入”モードと“上書”モードは，モード切換キー（ｐｆ・１９）で切り換えることが出来，どちらのモードかは画面最上行に常に表示されている。

3－1　文字列挿入

【例】
「ＡＢＣ」のＢとＣの間にＸＹＺを挿入し「ＡＢＸＹＺＣ」とする。

①カーソル移動キー（→←↑↓）により挿入したい位置へカーソルを移動
　００３０　ＡＢＣ
②文字「Ｘ」を入力する
　００３０　ＡＢＸＣ
③続けて文字列「ＹＺ」を入力
　００４０　ＡＢＸＹＺＣ

3－2　文字列削除

【例】
「ＡＢＣＤＥＦ」の２文字「ＣＤ」を削除。

①カーソル移動キーにより「Ｃ」の位置へカーソルを移動
　００３０　ＡＢＣＤＥＦ
②削除キー（ｐｆ・１８，ＰＣ９８００ではＤＥＬ）を押す
　００３０　ＡＢＤＥＦ
③続けて削除キーを押す
　００３０　ＡＢＥＦ

※　削除キーを誤って押した場合や，連続押下により消去し過ぎた場合は，復活キー（ｐｆ・１０）により復活できる。

【例】
「ＡＢＣＤＥＦ」の「ＣＤ」を消去するつもりが「Ｅ」まで消去してしまった場合の復活手順。
①削除キーにより「ＣＤＥ」を消去
　００３０　ＡＢＦ
②復活キーを一度押す
　００３０　ＡＢＥＦ

続けて復活キーを押せばＣやＤも復活できる。

3－3　行挿入

カーソル行の前に空白行を挿入する。

【例】
①カーソルを行の先頭に位置付ける
　００３０　ＡＡＡＡＡＡ
　００４０■ＢＢＢＢＢＢ
②リターンキーを押す
　００３０　ＡＡＡＡＡＡ
　００３１
　００４０　ＢＢＢＢＢＢ

※　カーソル行の次に空白行を挿入するには　ＳＨＩＦＴ＋リターンキー。
　Ｎ５２００の場合はＳＫＩＰキーの隣のキー。

3－4　行削除

カーソル行を削除し以降の行を前に詰める。

【例】

ＢＢＢＢの行を削除

①カーソルをＢＢＢＢの位置へもっていく

```
００３０　ＡＡＡＡ
００４０■ＢＢＢＢ
００５０　ＣＣＣＣ
```

②行削除キー（ｐｆ・１６）を押す

```
００３０　ＡＡＡＡ
００４０　ＣＣＣＣ
```

※　誤って行削除してしまった行の復活も復活キー（ｐｆ・１０）で可能。

3－5　行分割

行の途中のカーソル位置から行を分割する。

【例】

①カーソルを行の途中へ位置付ける

```
００３０　ＡＡＡＡ■ａａａａ
００４０　ＢＢＢＢ
００５０　ＣＣＣＣ
```

②リターンキーを押す

```
００３０　ＡＡＡＡ
００３１ａａａａａ
００４０　ＢＢＢＢ
```

3－6　行結合

復改コードを削除することにより行う。

【例】

①復改コードにカーソルを位置付ける

```
００３０　ＡＡＡＡ↓
００４０　ＢＢＢＢ■
００５０　ＣＣＣＣ↓
```

②削除キーを押す

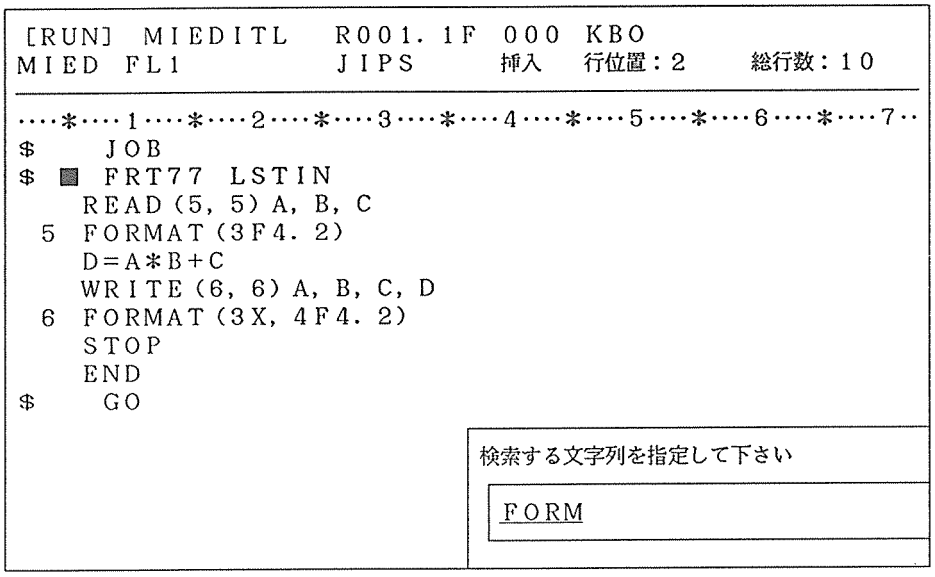
```
００３０　ＡＡＡＡ↓
００４０　ＢＢＢＢＣＣＣＣ↓
```

※　ここで復改コード（ＰＣ９８００の場合，↓　Ｎ５２００の場合，」）は標準では表示されていないが機能変更（「４．補助機能」を参照）で表示するか否かを指定できる。または，カストマイズ機能により起動時から表示させることも可能。
「６．カストマイズ」にその例があるので参照のこと。

3－7　文字列検索（順検索）

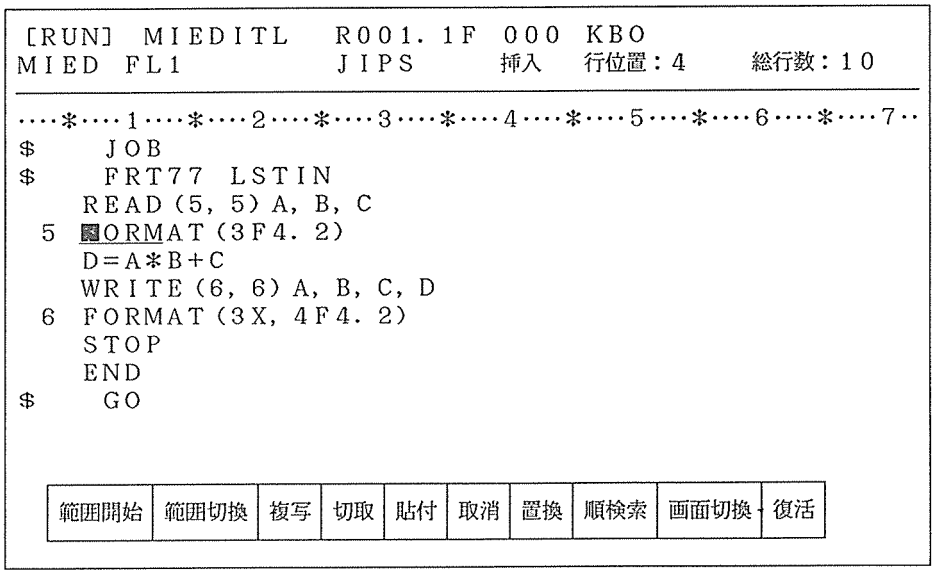
現在のカーソル位置からテキストの終端に向かって検索し，下線表示される。

①　順検索キー（ｐｆ・８）を押す



②検索したい文字列“ＦＯＲＭ”と入力しリターンキーを押す。

次の画面のように，文字列が見つかれば下線表示される。



※　同じ文字列を検索したければ“ＣＴＲＬ＋＾”で行える

この例の場合，７行目の“ＦＯＲＭ”を検索する。

3－8　文字列検索（逆検索）

現在のカーソル位置からテキストの先頭に向かって検索し，下線表示する。

① メニューキーを押し，“検索置換”に位置付ける

② ↑↓キーで“逆検索”に位置付け，リターンキーを押す。

	一括検索	
	一括置換	
	逆検索	
	置　　換	
	順検索	
編　集	検索置換	位置付け

③ “検索する文字列を指定して下さい”の問いに文字列を入力

※ 同じ文字列を検索したければ“ＣＴＲＬ＋¥”で行える

3－9　文字列一括置換

テキスト内の文字列を一括して検索置換する。

① メニューキーを押し，“検索置換”に位置付ける
② ↑↓キーで“一括置換”に位置付け，リターンキーを押す。

	一括検索	
	一括置換	
	逆検索	
	置　　換	
	順検索	
編　集	検索置換	位置付け

次の画面となる。この場合のカーソル位置は2行めにあるものとする。

```
[RUN] MIEDITL   R001. 1F  000  KBO
MIED  FL1           JIPS      挿入   行位置：2      総行数：10
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
$      JOB
$      FRT77  LSTIN
       READ(5, 5) A, B, C
  5    FORMAT(3F4. 2)
       D=A*B+C
       WRITE(6, 6) A, B, C, D
  6    FORMAT(3X, 4F4. 2)
       STOP
       END
$      GO
```

検索する文字列を指定して下さい

B

置換する文字列を指定して下さい

XXX

③ 検索したい文字列“B”と入力後↓キーを押す。
④ 置換したい文字列“XXX”を入力しリターンキーを押すと次の画面のように，置換される。

```
[RUN] MIEDITL   R001. 1F  000  KBO
MIED  FL1           JIPS      挿入   行位置：       総行数：
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
$      JOB
$      FRT77  LSTIN
       READ(5, 5) A, XXX, C          ・・・ BがXXXに置換
  5    FORMAT(3F4. 2)
       D=A*XXX+C                     ・・・ BがXXXに置換
       WRITE(6, 6) A, XXX, C, D      ・・・ BがXXXに置換
  6    FORMAT(3X, 4F4. 2)
       STOP
       END
$      GO
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

【参考】
もし，その一括置換が間違いだった場合，取消キー（ｐｆ・６）により復活することが出来る。

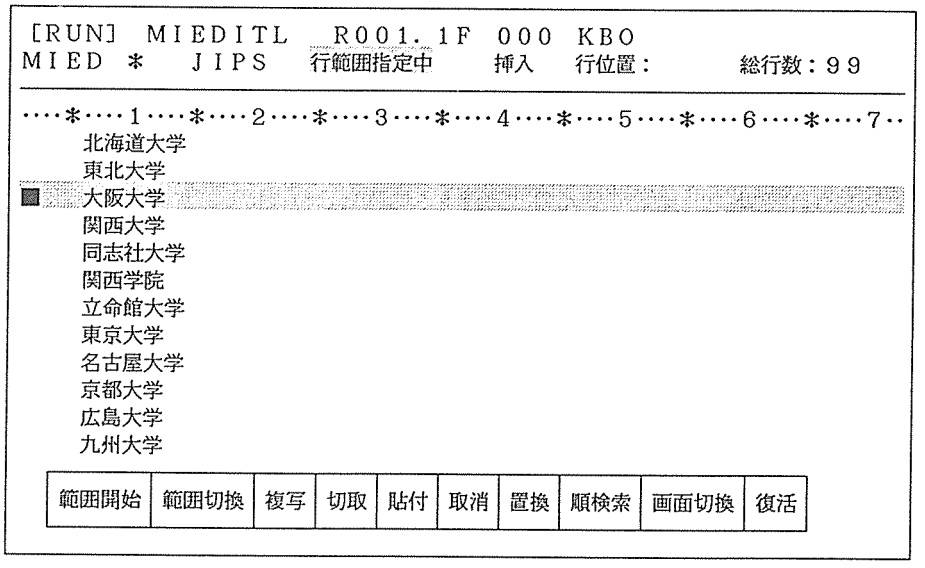
これより，複数行の編集（削除，移送，複写）の説明を行う。範囲の指定方法として行範囲指定，文字列範囲指定，矩形範囲指定が選べる（ｐｆ・２キーで切り換えることが出来る）。ここでは行範囲での例で説明を行う。

３－１０　範囲指定の削除

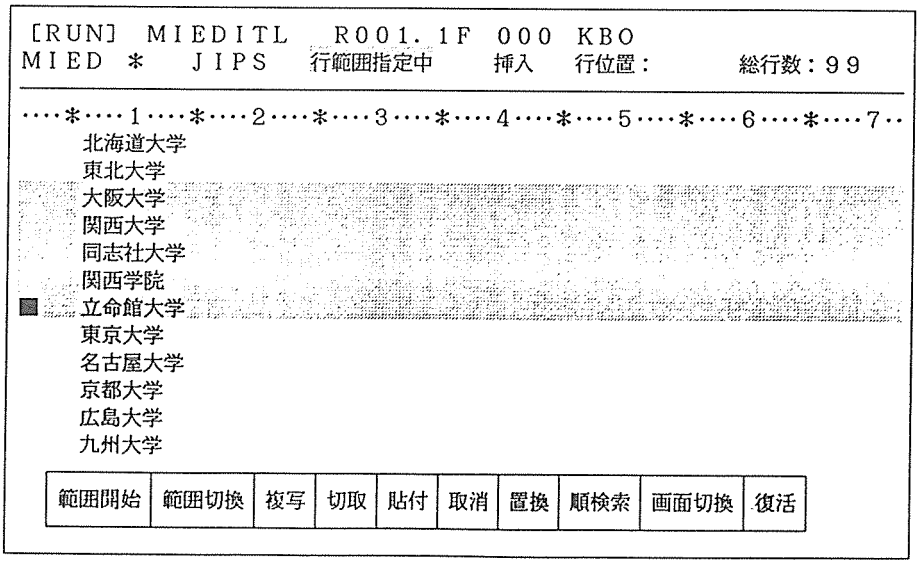
【例】

次のようなテキストがあり，３行目から７行目までを削除。

① 削除したい行の所にカーソルを持っていく。
② 範囲開始キー（ｐｆ・１）を押す。



③ 削除したい行の最後の行にカーソルを持っていく。
始めの位置からこの部分まで画面は反転表示される。



④ 切取キー（ｐｆ・４）を押すと同時にこの範囲は画面から消える。

```
[RUN] MIEDITL   R001. 1F  000  KBO
MIED ＊              JIPS      挿入   行位置：３     総行数：２２
----＊----1----＊----2----＊----3----＊----4----＊----5----＊----6----＊----7--
      北海道大学
      東北大学
■     東京大学
      名古屋大学
      京都大学
      広島大学
      九州大学
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

【参考】

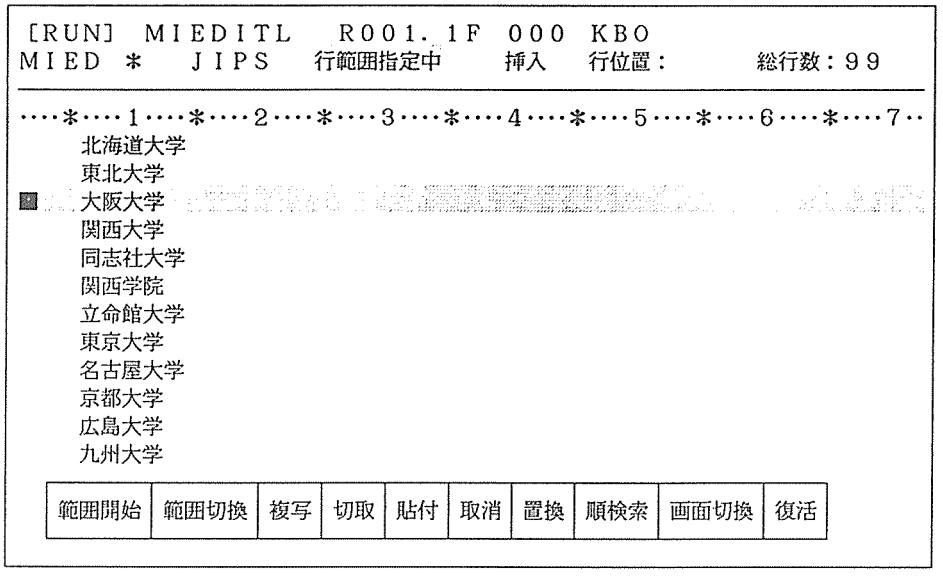
誤って削除した場合，取消キー（ｐｆ・６）により復活できる。

範囲指定を取消すのは［ＥＳＣ］キーである。

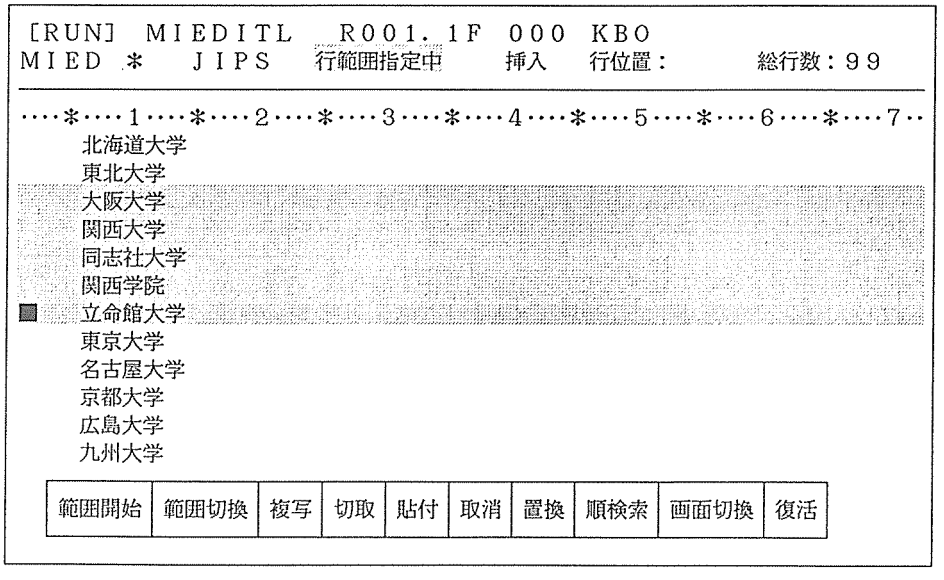
3－11　範囲指定の移送

【例】
次のテキストの3～7行を10行の後に移送。

① 移送したい行の所にカーソルを持っていく。
② 範囲開始キー（pf・1）を押下する。このとき、その行が反転表示される。



③ 移送したい行の最後の行にカーソルを持っていく。
始めの位置からこの部分までの画面は反転表示される。



④ 切取キー（ｐｆ・４）を押すと同時にこの範囲は画面から消える。

```
[RUN]  MIEDITL    R001. 1F  000  KBO
MIED  *                  JIPS        挿入   行位置：3      総行数：２２
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
      北海道大学
      東北大学
■     東京大学
      名古屋大学
      京都大学
      広島大学
      九州大学
 範囲開始 | 範囲切換 | 複写 | 切取 | 貼付 | 取消 | 置換 | 順検索 | 画面切換 | 復活
```

⑤ 範囲指定した行を移送したい位置へカーソルを持っていく。
⑥ 貼付キー（ｐｆ・５）を押すとその範囲がカーソルの後に移送される。

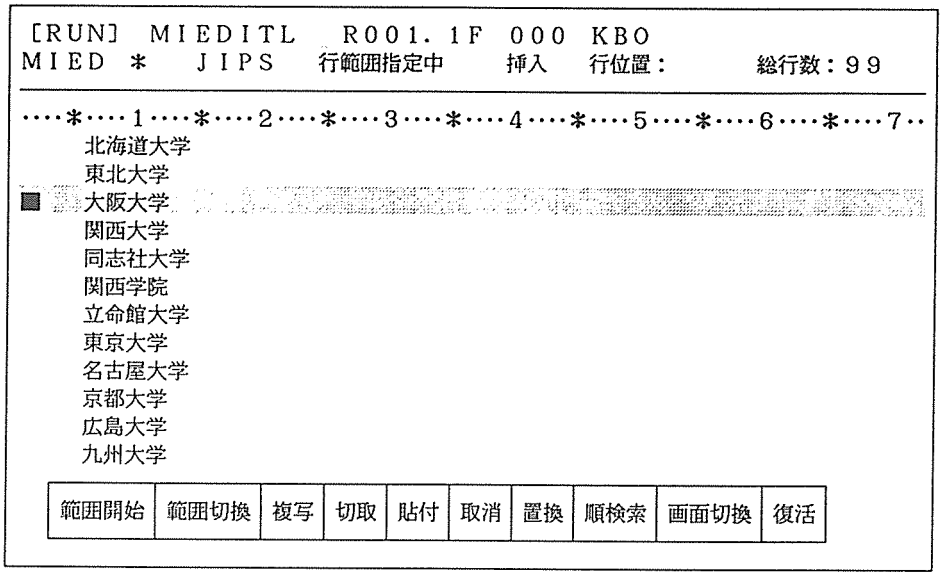
```
[RUN]  MIEDITL    R001. 1F  000  KBO
MIED  *                  JIPS        挿入   行位置：3      総行数：２２
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
      北海道大学
      東北大学
      東京大学
      名古屋大学
■     京都大学
      大阪大学  ┐
      関西大学  |
      同志社大学 |------ 移送した範囲
      関西学院  |
      立命館大学 ┘
      広島大学
      九州大学
 範囲開始 | 範囲切換 | 複写 | 切取 | 貼付 | 取消 | 置換 | 順検索 | 画面切換 | 復活
```

以上のように，削除の操作と①から④までは同じである。切り取った行をバッファに入れそれを貼り付けるかどうかである。

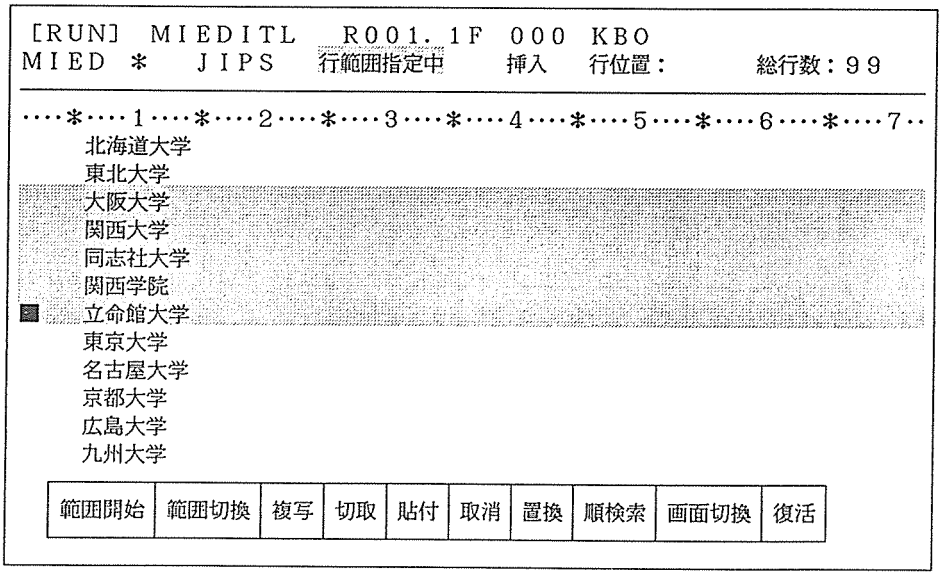
3－12　範囲指定の複写

【例】
次のテキストの3～7行を10行の後に複写する。

① 複写したい行にカーソルを持っていく。
② 範囲開始キー（pf・1）を押下する。このとき、その行が反転表示される。



③ 複写したい行の最後の行にカーソルを持っていく。始めの位置からこの部分までの画面は反転表示されている。



④ 複写キー（ｐｆ・３）を押す。このとき編集画面の下段に“指定範囲を補助バッファに複写しました”というメッセージがでてくる。

```
[RUN] MIEDITL   R001. 1F  000  KBO
MIED ＊              JIPS      挿入   行位置：３     総行数：２２
----＊----1----＊----2----＊----3----＊----4----＊----5----＊----6----＊----7--
      北海道大学
      東北大学
      大阪大学
      関西大学
      同志社大学
      関西学院
    ■立命館大学
      東京大学
      名古屋大学
      京都大学
      広島大学
      九州大学
------------------------------------------------------------------------------
  指定範囲を補助バッファに複写しました。
------------------------------------------------------------------------------
```

⑤ カーソルを複写したい位置に持っていく。
⑥ 貼付キー（ｐｆ・５）を押すとその範囲がカーソルの後に複写される。

```
[RUN] MIEDITL   R001. 1F  000  KBO
MIED ＊              JIPS      挿入   行位置：３     総行数：２２
----＊----1----＊----2----＊----3----＊----4----＊----5----＊----6----＊----7--
      北海道大学
      東北大学
      大阪大学
      関西大学
      同志社大学
      関西学院
      立命館大学
      東京大学
      名古屋大学
    ■京都大学
      大阪大学
      関西大学
      同志社大学 ------ 複写した範囲
      関西学院
      立命館大学
      広島大学
      九州大学
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

同じ内容を何か所にも複写したければ，⑤から⑥を繰り返せば可能である。

3－13　範囲切換

以上の例では，行範囲指定のみの説明を行ったが，ＭＩＥＤｌＴではこのほかに文字列の範囲指定や矩形での範囲指定も行える。これらを有効に使っていただきたいｐｆ・２キーを押すことによって　行→文字列→矩形の順に切り換わる。ただしこのキーはｐｆ・１を押し範囲指定をおこなっているときのみ意味がある。

（■は範囲開始キー押下位置　□は現在のカーソル位置）

・行範囲指定

行単位での削除、移動、複写の作業範囲を決めます。

行範囲形式（■と□が同じ位置のときは１行）

①　１行のとき

```
A■AAAAAA□AAAAAA
```

②　複数行のとき

```
A■AAAAAAA
BBBBBBBBB
CCCCCCCCC
D□DDDDDDD
```

```
AAA■AAAAA
BBBBBBBBB
CCCCCCCCC
DDDDD□DDD
```

・文字列指定

文字列での削除、移動、複写の作業範囲を決めます。

文字列形式（■と□が同じ位置のときは１字）

①　１行のとき

```
A■AAAAAA□AAAAAA
```

②　複数行のとき

```
A■AAAAAAA
BBBBBBBBB
CCCCCCCCC
D□DDDDDDD
```

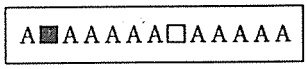
```
AA■AAAAAA
BBBBBBBBB
CCCCCCCCC
DDDDD□DDD
```

• 矩形指定

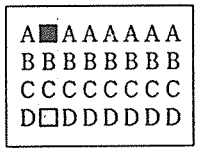
矩形での削除、移動、複写の作業範囲を決めます。

矩形形式（■と□が同じ位置のときは１行１桁）

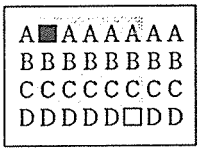
① １行のとき（横）



（縦）



② 複数行のとき



4．補助機能

コマンド入力，ＨＥＬＰメッセージ，再行番号付け，機能変更を行う。

①メニューキーを押し，“補助機能”に位置付ける

	機能変更	
	再番号付	
	ヘルプ	
	コマンド	
画面分割	補助機能	終了

4－1　機能変更

タブ位置の変更，画面送り単位の変更，モードの切り換え（行番号，復改コード，診断メッセージの表示／非表示，範囲指定の開始形式の変更）を行う。

【例】

復改コードの表示（ＰＣ９８００は↓，Ｎ５２００は」）をするか否かを変更。

①　↑↓キーを押し，“機能変更”に位置付け，リターンキーを押す。

```
MIED  FL1                          挿入  行位置：      総行数：
$      JOB
$      FRT77  LSTIN
       READ(5, 5) A, XXX, C
  5    FORMAT(3F4. 2)
       D=A*XXX+C
       WRITE(6, 6) A, XXX, C, D
  6    FORMAT(3X, 4F3. 2)
       STOP
       END
$      GO
```

```
**機能変更メニュー**********
    タブ位置の変更
    画面送り単位の変更
    モードの切換
      行番号          ：表示／非表示
      復改コード      ：表示／非表示
      診断メッセージ  ：表示／非表示
      範囲指定の開始：  行／文字列／矩形
```

取消	編集	検索置換	位置付け	ファイル	画面分割	補助機能	終了

②　↑↓キーを押し，“復改コード”に位置付ける。

②　←→キーで“表示”か“非表示”に位置付け，リターンキーを押す。

その他の変更についてはマニュアルを参照のこと。

【参考】

編集画面から，機能変更メニューを表示するにはＣＴＲＬ＋Ｐを押す。

4－2　ヘルプ

ＭＩＥＤＩＴ使用中にキーの使用法や編集方法等がわからなくなった時に行う。
メニューメッセージでパラメータ入力待ちのときに［ＨＥＬＰ］キーを押すと対応するメニューのヘルプメッセージが直接表示される。
Ｉキーで次画面を表示，↓キーで次行を表示，［ＥＳＣ］キーでヘルプの終了。

4－3　コマンド

ＭＩＥＤＩＴを終了させることなくＴＳＳコマンドが入力出来る。

①　“コマンド”に位置付け，リターンキーを押すと次のようにコマンド入力となる。

```
[RUN]  MIEDITL    R001. 1F  000  KBO
MIED  FL1         JIPS      挿入   行位置：3      総行数：12
----------------------------------------------------------------
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7..
$      JOB
$      FRT77  LSTIN
       READ(5, 5) A, B, C
  5    FORMAT(3F4. 2)
       D=A*B+C
       WRITE(6, 6) A, B, C, D
  6    FORMAT(3X, 4F4. 2)
       STOP
       END
$      GO
```

コマンド

CATA

②　コマンドを入力しリターンキーを押す。

```
[RUN]  MIEDITL    R001. 1F  000  KBO
MIED  FL1         JIPS      挿入   行位置：3      総行数：12
----------------------------------------------------------------
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7..
       LIST OF CATALOG A61234 ON 88/9/1  13:30
  CATALOG
     FILES

     TEST1
     TEST3
  CATA1
  SPSS
     FILD
     SGI

  テキスト編集画面へ戻りますか（Y）または，ＴＳＳコマンドを呼び出しますか？
  ==>Y
```

ここで，Ｙを入力すると編集画面に戻る。

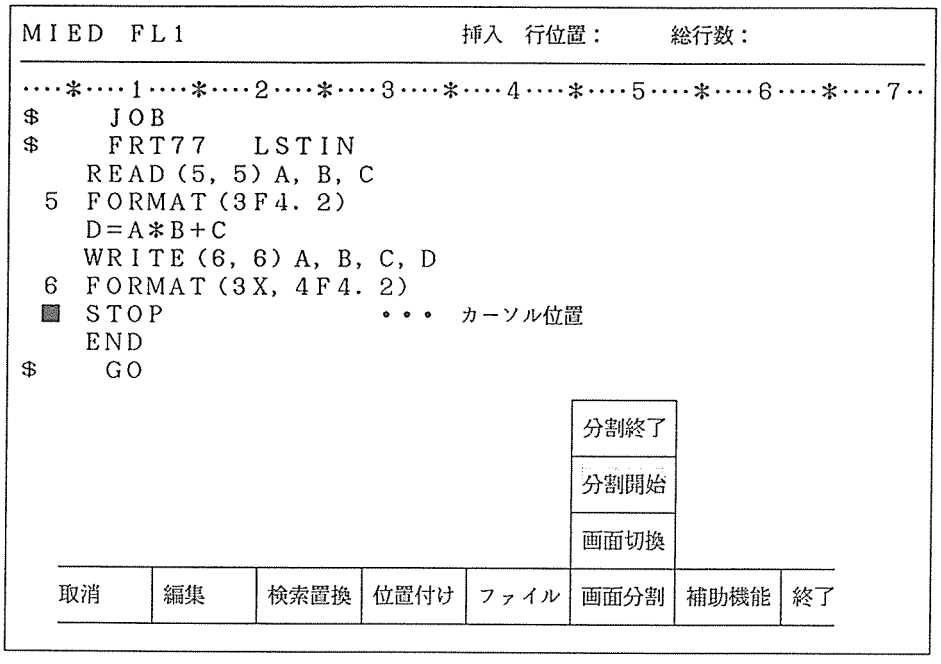
【参考】

編集画面から，コマンド入力にするにはＣＴＲＬ＋Ｎを押す。

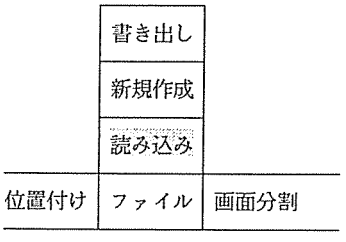
5．画面分割

画面の表示領域を分割し（上下に），２つのファイルの編集が行える。

① カーソルを画面中央あたりにもってくる（カーソルのある位置が境界となる）
② メニューキーを押し，“画面分割”に位置付ける。
③ “分割開始”に位置付けリターンキーを押す。



④ すると，次のようにカーソルがファイルの“読み込み”に自動的に位置付けられるのでリターンキーを押す。



⑤ ファイル名の入力画面となるので２つめのファイル名を指定。

⑥ 2つめのファイル（ＦＬ２）が正常に指定されると次の画面となる。

```
MIED  FL2                          挿入  行位置：      総行数：
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
$      JOB
$      FRT77   LSTIN
       READ(5, 5) A, B, C
  5    FORMAT(3F4. 2)
       D=A*B+C
       WRITE(6, 6) A, B, C, D
  6    FORMAT(3X, 4F4. 2)
------------------------------------------------------------------------
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
C
C
C**************************
C*  FORTRAN  TEST  PROGRAM  *
C**************************
C
C
```

取消	編集	検索置換	位置付け	ファイル	画面分割	補助機能	終了

5－1　編集画面の切り換え

２つのファイルをそれぞれ編集するには，“画面切換”により行う。
この時，どちらのファイルが編集可能かは画面左上にファイル名が表示されるので確認できる。

【例】

２つめのファイル（ＦＬ２）のある部分を１つめのファイル（ＦＬ１）の任意の場所へ複写する。

①　ＦＬ２の複写したい部分を範囲指定する

```
ＭＩＥＤ　ＦＬ２　　行範囲指定中　　挿入　行位置：　　総行数：
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
$      ＪＯＢ
$      ＦＲＴ７７　　ＬＳＴＩＮ
      ＲＥＡＤ（５，５）Ａ，Ｂ，Ｃ
  5   ＦＯＲＭＡＴ（３Ｆ４．２）
      Ｄ＝Ａ＊Ｂ＋Ｃ
      ＷＲＩＴＥ（６，６）Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ
  6   ＦＯＲＭＡＴ（３Ｘ，４Ｆ４．２）
------------------------------------------------------------
----*----1----*■--2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
C
C
C＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
C＊　ＦＯＲＴＲＡＮ　ＴＥＳＴ　ＰＲＯＧＲＡＭ　＊
C＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
C
C
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

②　複写（ｐｆ・３キー）する。これにより補助バッファにこの行が取り込まれた

③　次に，１つめのファイル（ＦＬ１）を編集可能にするために画面切換（ｐｆ・９キー）を行う。

④　1つめのファイル（ＦＬ１）の複写したい場所にカーソルをもっていく。

```
ＭＩＥＤ　ＦＬ１                          挿入　行位置：　　総行数：
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
$      ＪＯＢ
$      ＦＲＴ７７　　ＬＳＴＩＮ
■     ＲＥＡＤ（５，５）Ａ，Ｂ，Ｃ
  5   ＦＯＲＭＡＴ（３Ｆ４．２）
      Ｄ＝Ａ＊Ｂ＋Ｃ
      ＷＲＩＴＥ（６，６）Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ
  6   ＦＯＲＭＡＴ（３Ｘ，４Ｆ４．２）
------------------------------------------------------------
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
C
C
C**************************
C*  FORTRAN TEST PROGRAM  *
C**************************
C
C
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

⑤ 貼付（ｐｆ・５キー）を行う

```
ＭＩＥＤ　ＦＬ１                          挿入　行位置：　　総行数：
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
$      ＪＯＢ
$      ＦＲＴ７７　　ＬＳＴＩＮ
       ＲＥＡＤ（５，５）Ａ，Ｂ，Ｃ
Ｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
Ｃ＊　ＦＯＲＴＲＡＮ　ＴＥＳＴ　ＰＲＯＧＲＡＭ　＊　・・・この３行が複写された
Ｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
　５　ＦＯＲＭＡＴ（３Ｆ４．２）
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--
Ｃ
Ｃ
Ｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
Ｃ＊　ＦＯＲＴＲＡＮ　ＴＥＳＴ　ＰＲＯＧＲＡＭ　＊
Ｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
Ｃ
Ｃ
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

【参考】

画面分割を開始する際，カーソル位置を中央付近でなく，最上行か最下行にカーソルをもってきて分割を行えば画面全体が新しい画面となり編集画面と表示画面の裏表処理が行われる。

５－２　分割終了

① メニューキーを押し“画面分割”に位置付ける。

② “分割終了”に位置付けリターンキーを押す。
これにより，編集中のファイルを保存するか否かの問いがある。

③ 次に表示画面ファイルが編集ファイルとなるので引続き編集を行う。

6．カストマイズ

カストマイズファイルを変更することにより，自分の好みにあわせたキーの設定が行える。このファイル名は決っており，“．．ＭＩＣＳ”というファイル名で作っておく。もし，このファイル名以外の名前で作った場合はコマンド入力時に，カストマイズファイル名を指定する必要がある。

【作成方法】

システムで用意しているカストマイズファイルを自分のファイルに複写する

＊ＣＰＹ　ＡＣＯＳ６ＣＯＭＮ／ＭＩＥＤ／ＭＩＥＤＣＳ，Ｒ；．．ＭＩＣＳ

次に．．ＭＩＣＳの修正例を示す。（ＭＩＥＤＩＴやＮＥＤＩＴで修正）

【例】

ここの例では，復改コードを表示するように変更し，またｐｆ・１３キーを押すとカーソルを行の左端に移動させる（ＣＴＲＬ＋Ｇと同じ機能）ということにする。

① ｐｆ・１３には既定値では何も機能の設定はされていない。ここで付録Ｂの機能説明でカーソルを行の左端に移動という機能番号は“５９”となっているので例のようにＰＦ・１３の行に追加を行う。その右に説明文をいれておくとわかりやすい。

② ．．ＭＩＣＳの後半には初期値設定（この例のテキストタイプ以降）がある。この例では復改コードを表示するので“復改コード表示”の２を１（付録Ｃ起動時の初期値を参照）に変更している。

【注意】

１バイトのスペースと２バイトのスペースに気をつけて下さい。

以下に．．ＭＩＣＳの修正例を示す

ＰＦ１	４８	範囲選択
ＰＦ２	６１	範囲切換
ＰＦ３	２	複写
ＰＦ４	３	切取
ＰＦ５	４	貼付
ＰＦ６	１	取消
ＰＦ７	９	置換（文字列指定あり）
ＰＦ８	１１	順検索（文字列指定あり）
ＰＦ９	２３	切換
ＰＦ１０	３０	復活
ＰＦ１１		
ＰＦ１２		
ＰＦ１３	５９	カーソルを行の左端に移動する
ＰＦ１４		
ＰＦ１５		
ＰＦ１６	４６	１行削除
・		
・		
・		

テキストタイプ	ＪＩＰＳ
タブ設定	１，８，１６，３２
スクロール単位	１Ｐ
再行番号付け	１０１０，１０
行番号表示	１
復改コード表示	１　・・・　２：非表示を１：表示に変更
メニュー表示	２
ＰＦキーガイド表示	１
挿入モード	２
範囲指定形式	１
横スクロール単位	３
エラーメッセージモード	１

付録A　キー割り付け一覧

項番 (カスタマイズ)	キー操作	機能番号	機能説明
1	PF1	48	範囲選択
2	PF2	61	範囲切換
3	PF3	2	複写
4	PF4	3	切取
5	PF5	4	貼付
6	PF6	1	取消
7	PF7	9	置換（文字列指定あり）
8	PF8	11	順検索（　〃　）
9	PF9	23	切換
10	PF10	30	復活
11	PF11		
12	PF12		
13	PF13		
14	PF14		
15	PF15		
16	PF16	46	1行削除
17	PF17	63	カーソル直前一文字削除
18	PF18	62	カーソル位置一文字削除
19	PF19	58	モード切換（上書／挿入）
20	PF20		
21	PF21	29	メニュー表示（表示中の押下はメニュー消去）
22	PF22		
23	FNC + PF1		
24	FNC + PF2		
25	FNC + PF3		
26	FNC + PF4		
27	FNC + PF5		
28	FNC + PF6		
29	FNC + PF7		
30	FNC + PF8		
31	FNC + PF9		
32	FNC + PF10		
33	FNC + PF11		
34	FNC + PF12		
35	FNC + PF13		
36	FNC + PF14		
37	FNC + PF15		
38	FNC + PF16		
39	FNC + PF17		
40	FNC + PF18		
41	FNC + PF19		
42	FNC + PF20		
43	FNC + PF21		
44	FNC + PF22		
45	RETURN	65	行分割（挿入モード）
		65	カーソルを次の行の先頭に移動（上書）
		65	コマンドの実行（パラメータ入力、メニュー選択時）
46	復改	45	1行挿入
47	実行／送信	65	行分割（挿入モード）
48	SKIP	35	カーソルを次のタブ位置に移動
49	BSKIP	36	カーソルを手前のタブ位置に移動
50	RESET	55	完結していないモードの取り消し

項番 (カストマイズ)	キー操作	機能番号	機能説明
51	ESC	55	完結していないモードの取り消し
52	項消去	81	パラメータのフィールドを一括消去
53	項:K_0		
54	↑	31	カーソルを1行上に移動
55	↓	32	カーソルを1行下に移動
56	→	34	カーソルを1文字右に移動
57	←	33	カーソルを1文字左に移動
58	I	17	画面を一画面分ロールアップ
59	II	16	画面を一画面分ロールダウン
60	HELP	26	ヘルプ
61	FNC + RETURN		
62	FNC + 復改		
63	FNC + 実行／送信		
64	FNC + SKIP		
65	FNC + BSKIP		
66	FNC + RESET		
67	FNC + ESC		
68	FNC + 項消去		
69	FNC + 項:K_0		
70	FNC + ↑		
71	FNC + ↓		
72	FNC + →		
73	FNC + ←		
74	FNC + I		
75	FNC + II		
76	FNC + HELP		
77	FNC + RETURN		
78	FNC + 復改		
79	FNC + 実行／送信		
80	FNC + SKIP		
81	FNC + BSKIP		
82	FNC + RESET		
83	FNC + ESC		
84	FNC + 項消去		
85	FNC + 項:K_0		
86	FNC + ↑		
87	FNC + ↓		
88	FNC + →		
89	FNC + ←		
90	FNC + I		
91	FNC + II		
92	FNC + HELP		
93	CTRL + A	40	カーソルを1語手前（←）に移動
94	CTRL + B	51	ページライト
95	CTRL + C	17	画面を一画面分ロールアップ
96	CTRL + D	34	カーソルを1文字右に移動
97	CTRL + E	31	カーソルを1行上に移動
98	CTRL + F	39	カーソルを1語次（→）に移動
99	CTRL + G	59	カーソルを行の左端に移動する
100	CTRL + H	60	カーソルを行の右端に移動する
101	CTRL + I	56	行分割
102	CTRL + J	13	テキストの先頭へジャンプ
103	CTRL + K	14	テキストの最後へジャンプ
104	CTRL + L	15	指定行番号へジャンプ

項番 (カストマイズ)	キー操作	機能番号	機能説明	
105	CTRL + M	37	マーク設定	
106	CTRL + N	27	コマンド入力	
107	CTRL + O	57	行結合	
108	CTRL + P	24	機能変更メニュー	
109	CTRL + Q	28	終了	
110	CTRL + R	16	画面を一画面分ロールダウン	
111	CTRL + S	33	カーソルを1文字左に移動	
112	CTRL + T	44	行の先頭からカーソル位置まで削除	
113	CTRL + U	43	カーソル位置から行末まで削除	
114	CTRL + V	52	ページレフト	
115	CTRL + X	53	画面を一行分ロールアップ	
116	CTRL + W	32	カーソルを1行下に移動	
117	CTRL + Y	46	1行削除	
118	CTRL + Z	54	画面を一行分ロールダウン	
119	CTRL + 0			
120	CTRL + 1			
121	CTRL + 2			
122	CTRL + 3			
123	CTRL + 4			
124	CTRL + 5			
125	CTRL + 6			
126	CTRL + 7			
127	CTRL + 8			
128	CTRL + 9			
129	CTRL + ,	49	次マーク行に位置付ける	
130	CTRL + -	10	置換（文字列指定なし）	
131	CTRL + .	50	手前マーク行に位置付ける	注1）
132	CTRL + /			
133	CTRL + :			
134	CTRL + ;			
135	CTRL + @			
136	CTRL + [			
137	CTRL + ¥	8	逆検索（文字列指定なし）	注1）
138	CTRL +]			
139	CTRL + ^	12	順検索（文字列指定なし）	注1）
140	CTRL + !			
141	CTRL + "			
142	CTRL + #			
143	CTRL + $			
144	CTRL + %			
145	CTRL + &	77	－正規表現－	
146	CTRL + '			
147	CTRL + (			
148	CTRL +)			
149	CTRL + *	78	－正規表現－	
150	CTRL + +			
151	CTRL + <			
152	CTRL + =			
153	CTRL + >			
154	CTRL + ?			
155	CTRL + _			
			注1） 正規表現で使用されているため、変更しないほうが良い。	

付録B　機能番号一覧

機　　能　　説　　明	機能番号	機能キー	機能キー
取　消	1	PF6	
複　写	2	PF3	
切　取	3	PF4	
貼　付	4	PF5	
一括検索ウインドウ	5		
一括置換ウインドウ	6		
逆検索（文字列指定あり）ウインドウ	7		
逆検索（文字列指定なし）	8		CTRL + ¥
置換（文字列指定あり）ウインドウ	9	PF7	
置換（文字列指定なし）	10		CTRL + -
順検索（文字列指定あり）ウインドウ	11	PF8	
順検索（文字列指定なし）	12		CTRL + ^
先頭（テキストの先頭へジャンプ）	13		CTRL + J
最後（テキストの最後へジャンプ）	14		CTRL + K
行番号（指定行番号へジャンプ）ウインドウ	15		CTRL + L
前項／一画面ロールダウン	16	II	CTRL + R
次項／一画面ロールアップ	17	I	CTRL + C
書き出しウインドウ	18		
新規作成ウインドウ	19		
読み込みウインドウ	20		
分割終了	21		
分割開始	22		
切換（画面分割の画面を切り換える）	23	PF9	
機能変更ウインドウ	24		CTRL + P
再番号付ウインドウ	25		
ヘルプ	26	HELP	
コマンド入力	27		CTRL + N
終　了	28		CTRL + Q
メニュー表示	29	PF21	
復　活	30	PF10	
カーソルを１行上に移動	31	↑	CTRL + E
カーソルを１行下に移動	32	↓	CTRL + X
カーソルを１文字左に移動	33	←	CTRL + S
カーソルを１文字右に移動	34	→	CTRL + D
カーソルを次のタブ位置に移動	35	SKIP	
カーソルを手前のタブ位置に移動	36	BSKIP	
マーク設定	37		CTRL + M
カーソル位置を画面の先頭	38		
カーソルを一語次（→）に移動	39		CTRL + F
カーソルを一語手前（←）に移動	40		CTRL + A
カーソル位置の一文字削除（行結合無し）	41		
カーソル直前の一文字削除（行結合無し）	42		
カーソル位置から行末まで削除	43		CTRL + U
行の先頭からカーソル位置まで削除	44		CTRL + T
一行挿入	45	SHIFT+RETURN	
一行削除	46	PF16	CTRL + Y
行の先頭からカーソル位置まで空白挿入	47		
範囲選択開始	48	PF1	
次マーク行に位置付ける	49		CTRL + ,
手前マーク行に位置付ける	50		CTRL + .
ページライト	51		CTRL + B
ページレフト	52		CTRL + V
画面を一行分ロールアップ	53		CTRL + W
画面を一行分ロールダウン	54		CTRL + Z

機　　能　　説　　明	機能番号	機能キー	機能キー
完結していないモードの取り消し	55	RESET,ESC	
行　分　割	56		CTRL + I
行　結　合	57		CTRL + O
上書／挿入モード切換	58	PF19	
カーソルを行の左端に移動	59		CTRL + G
カーソルを行の右端に移動	60		CTRL + H
範囲切換	61	PF2	
カーソル位置の一文字削除（行結合有り）	62	PF18	
カーソル直前の一文字削除（行結合有り）	63	PF17	
カーソルを次行の先頭へ移動	64		
コマンドの実行（パラメータ入力，メニュー選択時） 行分割（入力モード） カーソルを次行の先頭へ移動（上書）	65	RETURN,実行	
文字キー	66		
	67		
一括検索開始	68		
一括検索終了	69		
一括置換	70		
書き出し	71		
新規作成	72		
読み込み	73		
－－－－	74		
外部行番号による位置付け	75		
相対位置付け	76		
－正規表現－	77		CTRL + &
－正規表現－	78		CTRL + *
サブファイル一覧	79		
タブセット	80		
パラメータのフィールドの一括消去	81		項消去

付録C　起動時の初期値

機　　能	既　定　値
言語タイプ	ＪＩＰＳ
タブ位置	なし
画面送り単位　（ﾍﾟｰｼﾞ:P,ﾊｰﾌﾍﾟｰｼﾞ:H,ﾗｲﾝ:L）	１Ｐ
再行番号表示　（開始行番号，増分値）	１０，１０
行番号表示　（有：１，無：２）	１
復改コード表示　（有：１，無：２）	２
メインメニュー表示　（有：１，無：２）	２
ＰＦキー機能説明表示　（有：１，無：２）	１
上書／挿入モード　（上書：１，挿入：２）	２
範囲指定の開始形式（行：１　文字列：２　矩形：３）	１
横スクロールの単位　（ｍ分の１ページ）	３
診断メッセージ表示　（有：１，無：２）	１